お告げのマリア修道会
Fiat
まごころ会
2023年11月
TEL095-846-8300
QRコードからアクセスして下さい

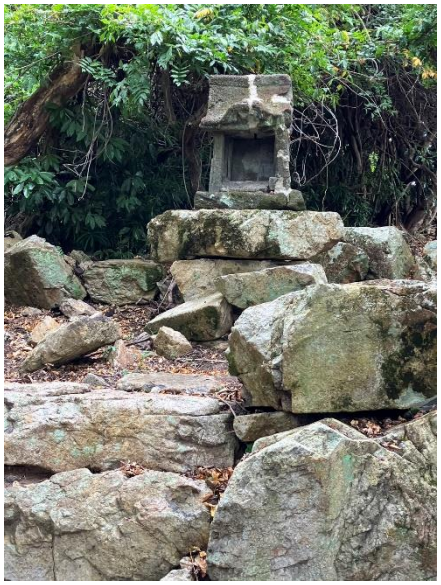
『わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身になりますように。』

『旅』の終わり150周年　1873～2023
鶴島巡礼（岡山県）

10月9日に行われた「第53回　流配地鶴島巡礼」に参加するために、10月8日（日）午前8時半、貸切バスで本部を出発し、長崎港で五島からくる姉妹を迎え、岡山へ。トイレ休憩、昼食などを挟んで9時間ほどかかりました。車中では、ロザリオを唱え、姉妹たちが準備したパンプレットや、DVDで岩永マキたちの「旅」について学び、時には楽しいゲームで盛り上がりました。

9日（月）には、日生港から40分ほどかけてチャーター船で鶴島に移動し、ミサが捧げられました。その後、岡山に戻って松寿寺・本行寺・岡山教会を訪れて、浦上のキリシタンが「旅」と呼んだ道のりを辿りました。

10日（火）は朝早くに広島を出発し、無事に長崎に帰り着きました。バスに乗っている時間が長かった巡礼でしたが、お告げのマリア修道会の歴史と神様の計らい、お恵みに思いを巡らせた3日間でした。神に感謝！


改宗の祠（備前市指定文化財）

「キリシタン遺跡」（備前市指定文化財）

キリスト教は江戸時代に禁教令が出され、明治新政府も当初、これを継続した。明治2年には、長崎浦上の信者3380名が捕らえられる事件が起こった。これは歴史上「浦上四番崩れ」と言われ、岡山藩へ117名が流配された。明治3年に鶴島に移された彼らは、政府がキリシタン禁制の高札を廃止するまでの2年間、開拓に従事し、労働と迫害の中で改宗を迫られた。

改宗の祠は週に一回、神官が改宗の説教をした場所である。明治6年に鶴島の生活を終えて帰郷の途に着いたとき、117名のうち18名が死亡し、改宗者は55名にもなっていたとされる。

ここは殉教者の墓、改宗の祠、古井戸があり、のちに十字架、マリア像、殉教者を追慕する三好達治の歌が刻まれた碑が建てられた。

備前市教育委員会

まごころ会会員帰天、お祈りください

- アガタ　川添　敬子　桐教会出身
- ペトロ　野﨑　高好　福見教会
- ミカエル　丸田　薫　楠原教会
- マリア　山添　富子　仲知教会
- マルガリタ・M　塚本　シズ　紐差教会
- ペトロ　入江　繁好　青砂ヶ浦教会
- ミカエル　平瀬　敏行　青砂ヶ浦教会

会員帰天、お祈りください

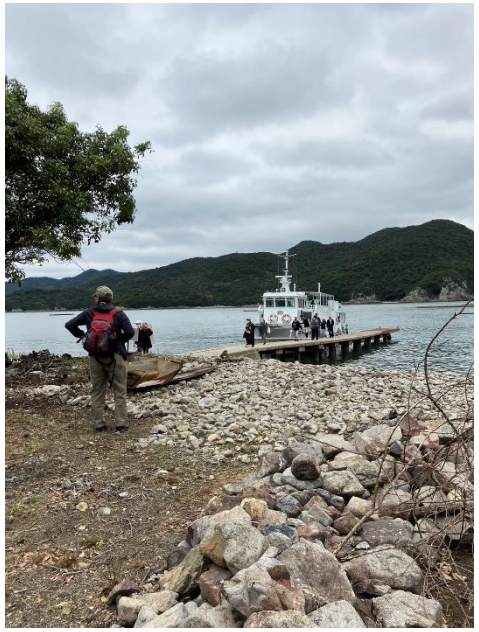
- Sr. テレジア　濱端エスノ　福江修道院

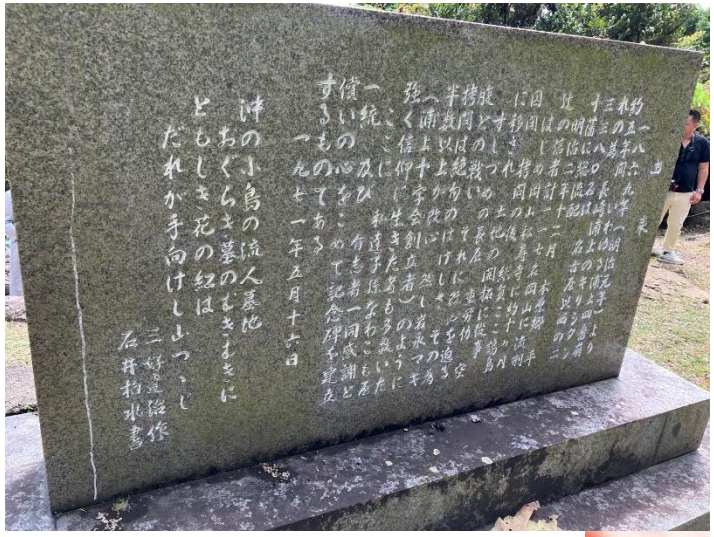
11月は死者の月、感謝のうちに、亡くなった方を思い起こし、祈りをお捧げします。

キリシタン殉教者の碑
殉教した信者の名前が刻まれている
この中に、岩永マキの父（市造）と
妹（フイ）が含まれている

キリシタン殉教者の碑の前で祈りを捧げる

ミサを捧げる神父様たち　司式はレンゾ神父様





三好達治の歌が刻まれた追悼の碑
「岩永マキ（浦上十字会創立者）のように強く信仰を
生きた者も多数いた」と言う一文もある

チャーター便で殉教祭に集まった皆さん